

NTT ソフトウェアイノベーションセンタと NTT データ数理システムが  
I-Scover チャレンジ 2013 に出場し、  
**\*最優秀賞を受賞しました！\***

電子情報通信学会 (IEICE) が主催する I-Scover チャレンジ 2013 に参加し、最優秀賞を受賞しました。

今回のコンテストは、電子情報通信学会の文献検索システム「I-Scover (IEICE Knowledge Discovery)」(<http://i-scover.ieice.org/>)の普及と学会論文の価値を広めることを目的としており、文献検索システム「I-Scover」の論文メタ情報を題材に未知の傾向や知見につながるような可視化を行うという課題でした。また、提供された論文メタ情報は著者・論文・アブストラクト・発行年月日などがまとめられた情報で 16 万件以上の文献情報、10 万件規模の技術用語や 10 万人規模の研究者データが構造化された世界でも有数の論文データです。

コンテストには海外からの参加を含め 17 作品のエントリーがありました。NTT データ数理システムは NTT ソフトウェアイノベーションセンタ様と共同チームを作り、以下のメンバ

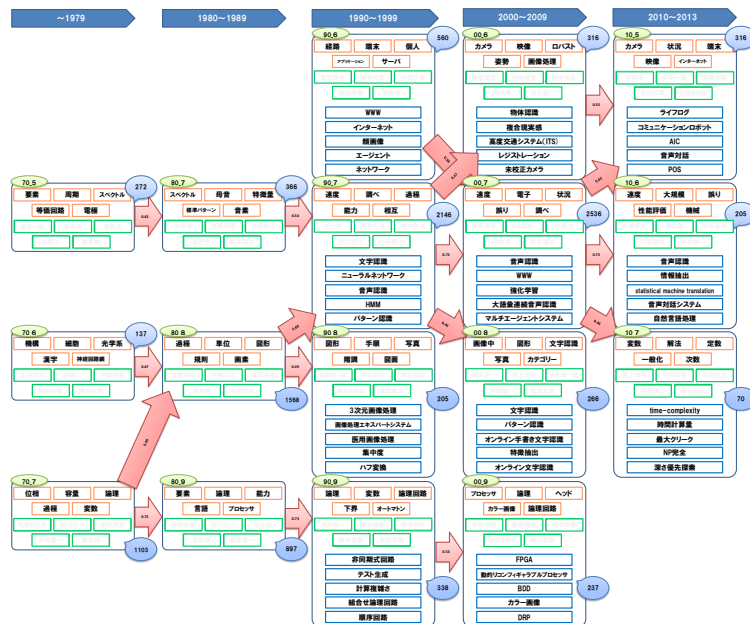
中川 慶一郎 (ビジネスインテリジェンス推進センタ)

鍋谷 昂一 (ビジネスインテリジェンス推進センタ)

尾崎 博子 (データマイニング部)

で参加しました。

本取組では著者がアブストラクトに使用した単語の類似性に着目して研究者/技術領域のコミュニティを抽出しました。さらに時間的な変化に着目して研究者/技術領域の系譜をあぶり出しました。



構築した技術年表 (一部抜粋、著者名は非表示)

コミュニティ抽出では NTT ソフトウェアイノベーションセンタ様のグラフクラスタリング技術、時間的な変化の把握ではパーソナライズドページランク技術を活用しました（世界最速のグラフデータ分析処理技術を開発、<http://www.ntt.co.jp/news2013/1302/130213b.html>）。また、分析にあたっては NTT データ数理システム社開発のソフトウェア（**Text Mining Studio**<sup>®</sup>・**Visual Mining Studio**<sup>®</sup>）を利用しました。

論文メタ情報から有用性の高い技術年表を自動構築したことに対しわかりやすい可視化を実現したことが高く評価されました。また、技術年表は、技術動向を把握し企業・研究機関が技術戦略に活かすために必要なものであり、学術的にも重要な価値が認められます。

NTT データ数理システムでは、特許情報分析ツール「**Patent Mining eXpress**<sup>®</sup>」を提供しています。この分析ツールでは出願状況の時系列推移や発明内容の可視化など、特許の技術単語をベースとした分析機能を有しています。今回のコンペで培った技術ノウハウを今後の製品開発に反映させ、お客様ビジネスにお役立ていただく所存です。

#### 【各商品のご紹介】

\* **Text Mining Studio**<sup>®</sup>

<http://www.msi.co.jp/tmstudio/>

\* **Visual Mining Studio**<sup>®</sup>

<http://www.msi.co.jp/vmstudio/>

\* **Patent Mining eXpress**<sup>®</sup>

<http://www.msi.co.jp/tmstudio/PMXpamphlet.pdf>

#### 【本件に関する連絡先】

株式会社 NTT データ数理システム

営業部

Tel: 03(3358)6681

Email: [sales@msi.co.jp](mailto:sales@msi.co.jp)

URL: <http://www.msi.co.jp>